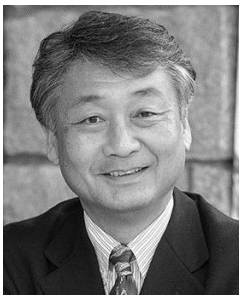
科目名			担当教員	
発達障害者の地域支援			三浦　剛	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
DD2211	1	1	S（講義）	1 年以上
生成 AI 利用レベル		試験（スクーリング含む）　：　C		



科目の概要

■科目の内容

これまで法の狭間におかれてきた学習障害（LD）、注意欠陥・多動性障害（AD／HD）、アスペルガー症候群や高機能自閉症といわれる人たちの、その障害の特性を学び、教育、司法、就労などのさまざまな領域からの支援アプローチを学ぶ。なかでも個別支援計画の策定や社会資源開発といった地域生活支援に必要とされる社会福祉援助技術を中心に、事例を用いてその支援のあり方や方法の実際を学ぶ。

・発達障害の概念
・その生活困難の特徴
・地域生活支援の理念、内容、方法
・ライフステージごとの地域生活支援の実際
・今後の課題

【教員等の実務経験による指導内容】

発達障がい者及びその家族等への相談援助の実務経験をいかし、発達障がい者へのソーシャルワークによる地域生活支援を実践できる人財を育成します。

■到達目標

１）発達障害の概念について説明することができる。
２）発達障害がある人の生活上の困難を生活の実態を通して説明することができる。
３）ソーシャルワークによる地域生活支援の考え方を説明できる。
４）支援制度や方法の具体的仕組みについて説明することができる。
５）支援を行う際の資源やそれらの連携システムの活用法が説明できる。
６）支援の今後の課題について、自分の意見をまとめ、説明することができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「俯瞰的な分析力」「倫理的実践力」を身につけてほしい。

■教科書・参考図書

【教科書】

スクーリング時にプリントを配付します。※教科書の配本はありません。

【参考図書】

杉山登志郎著『発達障害の子どもたち』講談社現代新書、2007 年
山崎晃資編著『自閉症スペクトラムと特別支援教育』金剛出版、2010 年
新見俊昌他編著『青年・成人期自閉症の発達保障』クリエイツかもがわ、2010 年など

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	発達障害とは	発達障害の概念を学ぶ
2	ソーシャルワークによる地域生活支援①	支援の理念
3	ソーシャルワークによる地域生活支援②	支援の方法、制度
4	乳幼児期支援の実際	早期療育システムによる支援の実際
5	児童・生徒期の支援の実際	教育場面を中心に、スクールソーシャルワークも視野に
6	就労支援の実際	地域支援システムでの支援過程の展開
7	これからの課題	社会的排除を視点に考える
8	まとめ	
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングのみ開講します。

■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。

■スクーリング　評価基準

スクーリング試験 100%（プリントと自筆ノートのみ持込可）

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

以下のキーワードについて、調べておくこと

「発達障害概念の変遷」「発達障害者支援法」「（早期）療育システム」「スクール（学校）ソーシャルワーク」「就労支援の過程（ケアマネジメント）」「社会的排除」

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

発達障害の障害特性により引き起こされる社会的排除を、地域生活、教育、就労などの各場面ごとに説明でき、その解消のためにはどのような支援策が必要か考え、自らの立場でできること、やらなくてはならないことを具体的に考えてみる。